

2024年度モニタリング会合とりまとめ報告書（案）の概括（全体像）

- オンラインモール分野、アプリストア分野（2022～）については、2回の大臣評価等を経て、特定プラットフォーム提供者の対応に一定の改善が見られた。今年度は、個社ごとに残っている課題への対応改善等を指摘。
- デジタル広告分野（2023～）については、社会問題となったなりすまし広告への対応（不十分な本人確認等）などについて、有識者から厳しい指摘があった。今年度は、本件をはじめとする各種課題への対応改善を指摘。

【主な課題と指摘事項】

1 オンラインモール分野

① 提供条件の開示の改善

売上金留保措置における
説明不足の改善

② 審査の正確性向上

アカウント削除・出品停止の
理由の具体化

③ 不正行為への対応

規約違反の
無在庫転売の取締り

2 アプリストア分野

複数の経路から寄せられる苦情を
計数し開示

誤ったアカウント停止の最小化

消費者による不適切な返金申込みに
対する対応強化

3 デジタル広告分野

運用で決定されている支払手段など
重要な提供条件変更理由の通知

広告掲載媒体の適正性審査における
誤判定の最小化

なりすまし広告対策
(本人確認の強化等)